

## 第2回 旧RD最終処分場跡地利用協議会（書面開催）にいただいた ご意見・ご質問への回答について

■日時：令和4年2月（書面開催）

■ご意見・ご質問と回答（⇒が県の回答です）

### 1 事例紹介について

(1) 2月1日付けの朝日新聞は、豊島産廃問題にかかわって遮水壁撤去が始まった、と報じています。そこで、①紹介された二つの事例では、遮水壁はどうなっているのか、教えてください。②旧RD最終処分場において、遮水壁を撤去する可能性について現時点でどのように考えているのか、教えてください。

⇒ ①については、紹介しました事例では、底面や法面に遮水シートを設置することにより対応されています。なお、廃棄物層を通過した浸出水については、現在も水処理施設で処理をされています。②については、浸透水の放流について、浸透水の水質が安全な状態になることが前提であり、まずはモニタリングや浸透水の揚水処理を継続していきます。その上で、遮水壁の取り扱いについては、場内の浸透水の管理と関係しますので、跡地利用や維持管理とセットで検討していくこととなります。

(2) 『「横浜市神明台処分地」（管理者：横浜市）平成26年度処分場等への太陽光発電導入実現可能性調査』というのがあり、環境庁もからんで、水処理施設場所にソーラーパネル設置が検討されたようですが、設置されている・いない？その理由は？

⇒ ソーラーパネルは設置されていませんでした。

(3) 『●P3下 芝生広場・管理事務所について3mほどの高さがある木が映っていますが、処分場としての最終覆土分に加え、跡地利用の整備として、数m追加で盛土をされています。』→処分場最終覆土の厚みは何センチで、数m追加とは、何mですか？

『・地下に廃棄物があり、杭基礎が必要なものは建てられないため、平屋の建物のみ建てられている状況です。』→グラウンド周りのフェンスのコンクリート柱の打ち込みは何センチ？ および覆土は何センチでしょうか？ 旧RDでは可能なのでしょうか？

同じく和泉リサイクルで、多目的グラウンドのフェンスコンクリート柱の打ち込みは何センチですか？ 覆土は何センチですか？

⇒ 他事案の具体的な数値までは把握していません。なお、今後、具体的な跡地利用の検討を行う中で当事案地での可能性についても検討していきたいと考えています。

(4) 「跡地利用事例の紹介」に準じた利用施設ができることを希望します。但し、処分場の跡地や周縁が安全で安心できる環境であることが必須です。その為にも、住民に沿った検証や確認を求めます。

⇒ ご意見のとおり、跡地利用に当たっては、住民の皆さんの安全・安心の確保が必須であり、引き続きモニタリングや水処理等を行ってまいります。